

重点施策14 文化財の保存及び積極的な活用

【施策方針】

国重要文化財に指定されている日土小学校の校舎見学会や梅之堂三尊仏の一般公開等、文化財の保存・活用に努めるとともに、ふるさと文化再興事業により伝統的行事文化の継承を図り、旧白石和太郎洋館を中核とした保内町の古いまちなみの保存、紹介を行っている。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

文化財の保存、継承

- ① 重要文化財日土小学校校舎見学会
- ② 梅之堂三尊仏の一般公開
- ③ 旧白石和太郎洋館管理、一般公開
- ④ 文化財説明看板設置
- ⑤ 文化財保護審議会の開催

(2) 主な施策・事業の実施状況

① 重要文化財日土小学校校舎見学会

平成21年度から平成24年度までは学校教育課所管であった日土小学校校舎見学会が平成25年度より生涯学習課の所管となった。第1回 平成21年8月1日(800名)、第2回 平成21年12月27日(158名)、第3回 平成22年3月28日(120名)、第4回 平成22年8月8日(182名)、第5回 平成22年12月26日(19名)、第6回 平成23年3月27日(74名)、第7回 平成23年8月7日(243名)、第8回 平成23年12月25日(84名)、第9回 平成24年3月25日(88名)、第10回 平成24年8月12日(391名)、第11回 平成24年12月30日(302名)、第12回 平成25年3月31日(412名)、第13回 平成25年8月4日(257名)、第14回 平成25年8月11日(241名)、第15回 平成25年8月18日(253名)、第16回 平成25年12月29日(55名)、第17回 平成26年3月30日(239名)、平成25年度末までに合計3,204名の見学者があった。

八幡浜市役所の職員であった建築家松村正恒が設計し、中校舎と東校舎は、それぞれ昭和31年と昭和33年にかけて完成した。平成20年9月から地震補強(中・東校舎)、新增築(西校舎)を実施し、平成21年6月末で保存再生工事が完成し、日土小学校校舎は、数少ない木造校舎の耐震補強事例であると共に、文化財の改修方法を用いながらも、現代の建築基準法等に配慮した全国的に見ても稀有な校舎であることから、全国から見学の依頼が多く寄せられることとなった。

そして平成24年12月28日、戦後建築としては4番目、戦後木造建築としては初の重要文化財に指定された。

通常、学校教育の場となっている校舎は、児童への影響を考え、原則非公開としているが、関心の高さを考慮し、長期の休みを利用して日土小学校のすばらしさを、多くの方々に共感していただきたいという思いから見学会を開催している。

② 梅之堂三尊仏の一般公開

国指定の重要文化財である梅之堂三尊仏の一般公開は5月から12月の第2日曜日に行っている。

③ 旧白石和太郎洋館管理、一般公開

旧白石和太郎洋館については、旧保内町時代から改修を重ねてきたが、その改修も平成18年度に完了したため、これを毎月第2・第4日曜日に一般公開並びにイベントや会議に貸し出しを行い、旧保内町の繁栄、栄華の跡を今日にまで遺すものとして、希望者に無料で公開している。また、この旧白石和太郎洋館の管理を一般から募集し、委託している。(旧白石和太郎洋館管理委託料 240千円) まちなみ見学用駐車場及び公衆トイレ管理業務については、同じくこの旧白石和太郎洋館の管理者に委託している。この見学用駐車場と公衆トイレは、旧白石和太郎洋館を中核とした旧保内町のまちなみの見学者・来訪者専用にしたものである。(まちなみ見学用駐車場及び公衆便所管理業務委託料 240千円)

④ 文化財説明看板設置

市指定文化財の説明版を計画的に修繕している。平成25年度は文化財説明板2基(高德寺・龍潭寺)を設置した。(案内説明板の設置2件 備品購入費 380千円)

⑤ 文化財保護審議会の開催

旧八幡浜市、旧保内町から各5人ずつ合計10人の有識者による文化財保護審議委員を、これも各分野から専任し、文化財の保護、および新しい市文化財の指定、指定の解除等について議論をし、意見、助言をいただいている。

【学識経験者意見】

1. 国の重要文化財に指定された日土小学校は、長期の休みに開催する見学会には県内外から多くの見学者が訪れている。案内板の設置や、啓発資料の作成、記念講演会が実施されたことにより、さらに松村正恒氏の功績を広く周知することができたと思う。今後も継続して顕彰していただきたい。また、日土小学校だけでなく、市内に残る松村建築の保存・活用も計画的に進めてほしい。
2. 梅之堂三尊仏については、地元住民でつくる梅之堂奉賛会から、堂宇の老朽化や会員の高齢化の問題で、市に管理するよう要請されていると聞いている。建替えるなら、寺のあった今の場所が良いと思うが、道が悪く、初めての来訪者には分かりにくいと思う。堂宇建替えや管理者の問題を考えると、市中心部へ移動することも解決の一方方法だと思う。
3. ボランティアガイドの皆さんには、歴史的建築物の見学者に熱心に案内していただいている。各種ボランティア団体が継続して活動できるよう、今後も支援、育成をお願いしたい。

【自己評価】

- 日土小学校の世界モニュメント財団からWMF ノールモダニズム賞受賞、また国の重要文化財に指定され、木造のモダニズムの優れた作品として価値が認められた。今後も八幡浜市の財産として地域・学校関係者と共に保存・活用に努め、文化財としての価値を市内外に発信するため、見学会等を継続して実施したい。また、そのほかの松村作品（川之内小学校、旧長谷小学校、旧図書館、中津川公民館）についても、日土小学校を核として、見学できるコース作り等考えていきたい。
- 梅の堂三尊仏・旧白石和太郎洋館については、より一層のPRに努め利用者見学者の増加を図りたい。
- 市内各地に残る貴重な伝統文化・文化財をボランティアガイドの皆さんは、市内外の見学者に対して熱心に案内していただいている。各種ボランティア団体が継続して活動できるよう、今後も支援、育成していきたい。